

# 診療の「落とし穴」紹介

## 相澤病院の山本医師が出版

相澤病院（田内克典院長）救命救急センター副センター長の山本基佳医師がこのほど、日常診療で生かせる診察・診断・手技・治療のポイントや患者対応、院内マナーなどをまとめた「救急外来TIPS1121」を出版した。写真。

初期・後期研修医、ER医として約10年務めた中で勉強したことや気づいたこと、一緒に働いた医師らから教わった日常診療の注意点などをまとめた。出版にあたり、ランダムに書き留めてきた



ものを診療科ごとに整理し、加筆修正。1121項目の「落とし穴」として紹介した。「失敗するところは皆ほぼ同じ。落とし穴を共有することで日常の診療に役立つ」といふと山本医師。コラムには自らの失敗談も盛り込んだ。各項目は箇条書きで、必要に応じて参考文献を明記。すぐに読んで実践に生かせる「耳学問」のエッセンスが満載だ。研修医のER診療をサポートするとともに、中堅・ベテラン医師にはER診療の落とし穴を回避するための手引きとして活用されることを期待している。

日本医事新報社刊、B6判304ページ。定価3996円（税込み）。

2017年6月10日 医療タイムス  
提供:医療タイムス社